

から「民事不介入」と対応してくれず、施設側もお客様相手に強くは言えなかったそうです。

今回の質問では、こうした悪質なマナー違反者を取り締まるための罰則付き条例制定の可能性について質すとともに、条例制定の可否に関し県民的議論を行い、県民を巻き込んだ啓発に繋げることを提案しました。



一般質問
後藤 慎太郎

平成31年 一般質問を終えて

初当選から早4年が経とうとしています。一般質問は任期中5回しました。

その貴重な機会を与えて頂きました先輩同僚諸氏に感謝を申し上げます。

今回の一般質問を終えてから、あらためてこれまでの質問の内容を見返してみました。

私はやはり大分県の農業の将来を見据えた質問を多くしています。

大分県の農地農村を守るための集落営農は、地域経営サポート機構という進化した取り組み

にまで発展させることができず、これからのこの推移をよく見守っていきたくと思っています。

また、農業者の労災加入の取り組みやGAP、HACCPの普及に関しても一定程度の役割は果たせたと思っています。また、農業や漁業の将来を担う産業人材の育成という観点からも質問をしました。

その次に多いのは、人と動物との共生社会についての質問です。私が初めて一般質問したときは、まだ動物愛護センターはありませんでした。今年ようやく県民待望の動物愛護センターができたことは本当にうれしく思います。まずは「必要のない殺処分」が減るために何ができるのかをこれからも考えていきたいです。

その次に多いのは性的少数者への理解を求める質問です。この問題は、本質的に人権問題であるということが社会ではまだまだ理解されていないと感じています。

しかし、今回の私の一般質問に対して、広瀬知事は大変前向きな回答をいただきました。それは、大分県からまず必要な性別欄を精査して削除するということでした。

たかがそのくらのことか、と思われる方も多いかもしれま

せんが、私はこの取り組みについて、今は小さいけれど必ず大きな取り組みになると感じています。

性的少数者の問題をはじめ、子どもの貧困、大人の貧困やひきこもり、認知症など社会にはまだまだ、悩み、悲しみ、苦しんでいる人たちが多くいることを私はあらためて知った気がしています。

これからも「声なき声を県政に小さな声を県政に」の想いを忘れることなく頑張ります。



一般質問
久原 和弘

24年間の県政を 総括し

私は、平松県政時代では2期8年間、広瀬県政時代では4期16年間、「県民のための県政」をめざし、24年間の議員活動に取り組んできました。

私なりに、この間の県政の歩みを検証・総括し、県政を去るにあたり、次の項目について提起しました。

- 1 人口減少対策について
- 2 高校教育について

(1) 県立高校の適正配置について
(2) 海洋科学高校の魅力向上策について

以上の質問に対する知事、教育長からの答弁を受けました。結びに、新たな時代の県政の発展につなげていただけるよう、

24年間の議員活動を通じた積年の思いを述べ、質問を締めくくりました。



請願・意見書の採択状況

■ 請願の採択状況

	可 否	県 民 ク ラ ブ	自 民 党	公 明 党	自 由 民 主 党 (党籍なし)	日 共 産 党	維 新 の 会	お お い た
宇佐市の上水道水源「駅館川流域」の環境破壊の防止に関することについて	採択	○	○	○	○	○	○	○
宇佐市の上水道水源「駅館川流域」の土砂災害の防止に関することについて	採択	○	○	○	○	○	○	○

■ 意見書の採択状況

辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う沖縄県民投票の結果を踏まえ真摯な対応を求める意見書	否決	○	×	×	×	○	×	×
統計不正問題の真相究明と信頼回復を求める意見書	否決	○	×	×	×	○	×	×
農林水産物・食品の輸出力強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○
食品ロス削減に向けての更なる取組を進めることを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○

■ 審議未了となった継続請願

日出生台演習場でのオスプレイを伴う日米共同訓練を行わないように求める意見書の提出について
四国電力伊方原子力発電所3号機の再稼働に反対する県議会決議を求めることについて